

会期中イベント いずれも本展チケットもしくは半券が必要

講演会

「フィンランド通が語る、フィンランド・デザインの源とフィンランドの楽しみ方」

今日のフィンランド・デザインの源である、フィンランドの国土・風土や歴史、観光資源などについて、日本でも有数のフィンランド通が詳しくご紹介いたします。また、福岡空港就航2年目を迎える、マリメッコ社とのデザイン・コラボレーションでも話題の「空飛ぶフィンランド・デザイン」フィンランド航空の魅力についてもご紹介いたします。



Visit Finland

[実施] JTB九州 [参加費] 無料  
[講演者] 能登重好氏(フィンランド政府観光局(Visit Finland)日本代表)、堀田博之氏(フィンランド航空 西日本統括支店長)  
[日時] 2017年1月14日(土) 13:00-15:00  
[会場] 福岡市博物館 1F 講堂  
[定員] 240名(要事前申込・応募多数の場合は抽選)  
[申込締切] 12月22日(木)

会期中イベント応募方法

郵送、FAX、Emailのいずれかで受け付けます。イベント名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、参加人数(1件につき、最大2名まで受付可)を明記のうえ、下記までお申し込みください。  
郵送先 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス内「フィンランド展」係  
FAX 092-731-5210 / E-mail finland@nishinippon-event.co.jp  
※2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。  
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。※当選者の発表は参加券の発送をもってかえさせていただきます。  
※ご応募の際にいただいた個人情報は、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。  
イベントについてのお問い合わせは  
西日本新聞イベントサービス内「フィンランド展」係 / TEL: 092-711-5491(平日午前9時半~午後5時半)

講座

「旅のプロが教える、フィンランド・北欧の楽しみ方」

フィンランド・北欧の魅力や楽しみ方を経験豊富なベテラン添乗員がお教えます。また、フィンランド・北欧の現地の基本情報や人気ツアーについてもご紹介いたします。  
[実施] JTB九州 [参加費] 無料

① 夏の楽しみ方

—ベストシーズンの夏のフィンランドの魅力

[日時] 2017年1月21日(土) 13:00-14:30  
[会場] 福岡市博物館 2F 多目的研修室  
[定員] 15組30名様(要事前申込・応募多数の場合は抽選)  
[申込締切] 12月22日(木)

② 秋の楽しみ方

—8月下旬から鑑賞できるオーロラの魅力

[日時] 2017年3月11日(土) 13:00-14:30  
[会場] 福岡市博物館 2F 多目的研修室  
[定員] 15組30名様(要事前申込・応募多数の場合は抽選)  
[申込締切] 2月22日(水)

ワークショップ

「親子で作ろうフェルトのアクセサリ」

フィンランドの冬の暮らしやフェルト作品を紹介する映像を見た後に、可愛いフェルトボールを使って、ネックレスなどのアクセサリを作ります。  
[日時] 2017年2月12日(日)  
1回目 10:30-12:00  
2回目 14:00-15:30  
[会場] 福岡市博物館 2F 多目的研修室  
[定員] 各回15組(6歳以上の子どもと保護者)要事前申込・応募多数の場合は抽選  
[参加費] 1,000円(親子1組)  
※子どもが2人以上の場合は、1人につき追加1,000円  
[申込締切] 1月25日(水)



ギャラリートーク

毎週水曜日14:00から本展担当学芸員によるギャラリートーク(約1時間)を開催します。申し込みは不要です(ただし本展入場者が対象)。

GOODS

会場物販コーナーでは展覧会オリジナルグッズのほか、フィンランドの有名デザインブランドの商品も販売します。この機会にぜひお求めください!



タイアップイベント

フィンッシュデザイン ナウ in なみきスクエア

[日時] 11月12日(土)~11月20日(日)

サンタの国のクリスマスイベント(コンサート・ワークショップ・クリスマス会)

[日時] 12月2日(金)・3日(土)

[会場] なみきスクエア / 〒813-0044 福岡県福岡市東区千早4丁目21-45  
[問い合わせ] 子ども文化コミュニティ/なみきスクエア地球舞台プロジェクト事務局  
TEL: 092-552-1540 / FAX: 092-561-9840 / E-mail: info@kodomo-abc.org  
[主催] なみきスクエアみらいネットワーク



公式サイト

http://finnish-design2017.exhn.jp/  
福岡展公式 Instagram/Facebook/Twitter

福岡展公式Instagramでは、「#私のフィンランド」と題した写真を募集しています。フィンランドを旅したときに撮った写真、お気に入りのフィンランドの雑貨、フィンランドに似た福岡の風景など、あなたが感じるフィンランドを投稿してください。投稿した写真が会場をいざどります。また投稿された方の中から抽選で5名に展覧会オリジナルグッズをプレゼントします。(投稿締め切りは3月20日まで、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます)

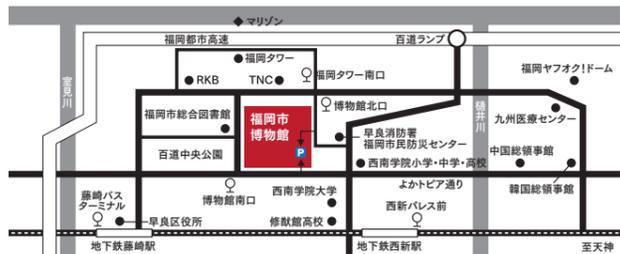


あなたも展覧会に参加しよう!

入場料|| 一般1,400(1,200)円| 高大生800(600)円| 小中生500(300)円

※( )内は前売り、20人以上の団体、満65歳以上(シルバー手帳等の年齢を証明できるものを提示)の割引料金。  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上の手帳を提示した人の介護者1人を含む)、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証を提示の場合は無料。  
チケット取扱|| ローソンチケット(Lコード81656)、チケットぴあ(Pコード990-601)、セブンイレブン、イープラス、CNプレイガイド、ファミリーマートほか主要プレイガイドにて発売。  
※会期中のチケットは当日料金での販売となります。※チケットは購入の際に各プレイガイドによって各種手数料がかかる場合があります。

主催|| 福岡市博物館、TVQ九州放送、西日本新聞社、日本経済新聞社| 後援|| フィンランド大使館、フィンランドセンター、北九州フィンランド名誉領事館、福岡EU協会、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、FM FUKUOKA、cross fm、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、福岡市タクシー協会、一般社団法人日本旅行業協会、西日本新聞TNC文化サークル、西日本文化サークル連合| 特別協力|| フィンランド政府観光局、日本フィンランド協会、アルテック、イッタラ(フィスカス・グループ)、スキャンデックス、タトル・モリ エイジェンシー、マリメッコ社、ルック| 協力|| フィンエアー、フィンエアーカーゴ、子ども文化コミュニティ、YOSHINOBU| 協賛|| 大伸社、JTB九州| 企画協力|| キュレイターズ



[交通のご案内] ◎市営地下鉄 博多駅から約13分、天神駅から約7分▶西新駅(K04)下車(1番出口)徒歩15分◎西鉄バス 博多バスターミナル1F5・6のりばから約25分、天神バスターミナル1Aのりばから約20分▶博物館北口、福岡タワー南口、博物館南口下車徒歩約5分◎車 都心高速百道ランプより約3分、無料駐車場(250台・大型バス10台・駐車可)  
※土日祝や会期末は駐車場や周辺道路が混雑します。公共交通機関をご利用ください。



〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1| TEL: 092-845-5011| FAX: 092-845-5019  
http://museum.city.fukuoka.jp/

シーサイドももち  
福岡タワー南

椅子(Puppy)  
エーロ・アールニオ  
2003年  
個人蔵  
© Eero Aarnio

フィンランド独立100周年記念  
100th Anniversary of Finland's Independence

# フィンランド

terve!

# デザイン

kiitos

陶製レリーフ(flower)  
石本藤雄  
制作年不詳  
有限会社スコープ蔵  
© Fujiwo Ishimoto

# 展

森と湖が育んだあたたかな暮らし

原画 書籍表紙  
トーベ・ヤンソン  
制作年不詳  
ムーミン・キャラクターズ社蔵  
© Moomin Characters™

Tove Jansson

2017.1.14.sat~3.20.mon  
午前9:30~午後5:30[入館は午後5時まで]| 月曜休館・ただし3月20日は開館

椅子(アームチェア 41 バイミオ)  
アルヴァ・アアルト  
1931-1932年  
アルテック  
個人蔵  
© Artek

Alvar Aalto

生地(ウニッコ)  
マイヤ・イソラ  
1964年  
マリメッコ社  
個人蔵  
© Marimekko Corporation

Maija Isola

Finnish Design 2017



福岡市博物館  
Fukuoka City Museum

[シーサイドももち・福岡タワー南]

フィンランド独立100周年記念

# フィンランド・デザイン展

「森と湖の国」フィンランドの人々は、夏は白夜、冬は極寒という厳しい自然と共に生き、その中から楽しみを見だしつつ日々の暮らしを送ってきました。フィンランドのデザイナーたちも、「自然と人間との調和」を大切に、日常で使われ、今も世界中で愛され続けている、シンプルであたたかい作品を生み出してきました。本展では、2017年がフィンランド独立100周年となるのを記念し、独立以前から現在までの100年に及ぶフィンランド・デザインの歩みを紹介します。巨匠アルヴァ・アアルトやカイ・フランクをはじめとする著名デザイナーたちが生み出した、家具・食器・テキスタイルなど約700点を通じて、フィンランドの人と自然が育んだ豊かなライフスタイルをお楽しみください。



アルヴァ・アアルト (1898-1976)

『古いものは新しく生まれ変わりはしないが、完全に消え去ることもない。そして常に新しい形態に修復することが可能だ。』

「北欧モダンデザインの父」と呼ばれるアアルトは20世紀の偉大な建築家であると同時に、フィンランドの日常生活に溶け込み、今や定番となった家具や食器などを手がけたデザイナー。機能性と普遍性を兼ね備えた作品の数々は世代を超えて受け継がれている。

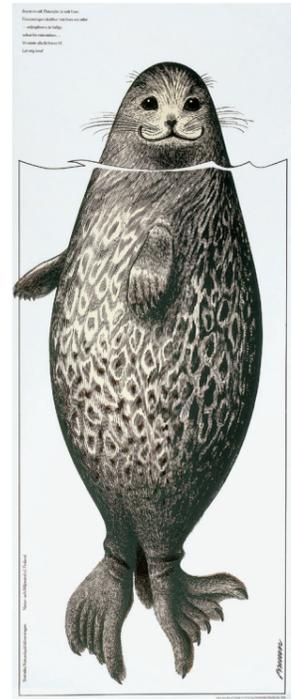
Alvar Aalto

椅子(スツール 60)  
アルヴァ・アアルト  
1933年  
アルテック  
© Artek



Eero Aarnio

椅子(Ball Chair)  
エーロ・アールニオ  
1963年  
ナゼロ蔵  
© Eero Aarnio



Erik Bruun

ポスター(自然保護団体)  
エリック・ブルーン  
1974年  
作家蔵  
© Erik Bruun

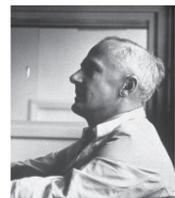
Heikki Orvola

キャンドルホルダー(Kivi)  
ヘイッキ・オルボラ  
1988年  
イッタラ  
© iittala



Kaj Franck

テーブルウェア(Kiltaシリーズ)  
カイ・フランク  
1953年  
アラビア  
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵  
© Designmuseo



カイ・フランク (1911-1989)

『美しさの究極的な意味は必要な、機能的な、有用なものの中にある。日常のニーズに対応して作られるものに、デザイナー名は不要である。』

代表作はイッタラの「ティーマ」や「カルティオ」などの食器シリーズ。「フィンランド・デザインの良心」と賞賛される彼は、「誰にでも使いやすく、どんな家にもなじみ、収納しやすいデザイン」を追求し、機能的で美しい作品を多く生み出した。



エーリック・ブルーン (1926-)

『こんなに仕事を長く続けられたのは、描くことが趣味でもあるから。』

『エリック・ブルーン 北欧フィンランド グラフィックの巨匠』  
エリック・ブルーン著/バイインターナショナル出版(2015)

Photo: Ilpo Musto©

フィンランドを代表するグラフィック・デザイナー。大胆な構図で動植物を生き生きと表現した作品から、多彩な色使いのポップな作品まで、幅広いデザインは、広告ポスターや切手、ポストカードなどさまざまなツールで使用されている。

座ってみよう!  
体感コーナー

有名デザイナーの作品に座りながら、フィンランドの景色を楽しめるコーナーが会場内に登場!

会場内体験コーナー  
「パピエのぬり絵」

アールニオの「パピエ」のぬり絵を会場内で楽しみいただけます。完成したぬり絵は会期中、会場内で掲示します。あなたのセンスでパピエをカラフルに彩ってください!

Oiva Toikka

ガラス(バード)  
オイバ・トイッカ  
イッタラ  
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵  
© Designmuseo



Vuokko

Eskolin-Nurmesniemi

ドレス  
ヴョッコ・エスコリン-ヌルメスニエミ  
1964年  
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵  
© Designmuseo



マイヤ・イソラ (1927-2001)

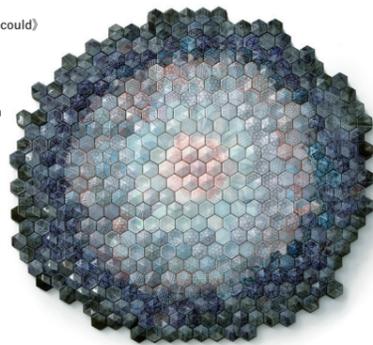
『日常の雑事も、それがユニークだと思えれば洗練されたものになるわ。』

『マイヤ・イソラ マリメッコのテキスタイル・デザイン』  
ピエ・ブックス出版(2006)

マリメッコを代表するデザイナー。フィンランドの自然だけでなく、異国の地への旅などからイメージを得て作られたファブリックは幾何学的で大胆なデザインが特徴。誕生から50年を経てもなお愛される「ウニッコ」が彼女の代表作。

Heini Riitahuhta

陶製レリーフ(Flower of could)  
ヘイニ・リータフタ  
2015年  
作家蔵  
© Heini Riitahuhta  
Photo: Chikako Harada



Harri Koskinen

ダイニングチェア  
ハッリ・コスキネン  
2015年  
個人蔵  
© Harri Koskinen  
Photo: Chikako Harada



Maija Isola

生地(ウニッコ)  
マイヤ・イソラ  
1964年  
マリメッコ社  
個人蔵  
© Marimekko Corporation



フィンランドの四季



春 kevät

あたたかな雨が春を連れてきた。森には新しい緑が芽吹き、雪の下からは小さな花が顔を出す。うきうきわくわくした私の気持ちをそのまま表したみたい、マリメッコのお気に入りの服を着て街へ出かけよう。



夏 kesä

Juhannus(ユハンヌス:夏至祭)は太陽に感謝するお祭り。美しく短い季節を楽しむためフィンランドの人々は森のサマーコテージで過ごす。そこは家族との大切な時間を快適に過ごすためのデザインにあふれている。



秋 syksy

Ruska(ルスカ 紅葉)の風景は、やがて来る冬の前に自然が見せる束の間のカラフルな世界。黄・赤・茶・緑...幾重にも折り重なるその色合いは、フィンランド人の日常生活のあらゆるデザインに息づいている。



冬 talvi

さっきまで降り続けていた雪がやんだ。しんと静まった夜にオーロラのカーテンがにぎやかに舞っている。ぱちぱちとはぜる暖炉の音を聞きながら、おじいちゃんからもらった大事なアアルトの椅子に座ってお気に入りの本を読む。

# Finnish Design